

第 8 期 柏市 高齢者いきいきプラン 2 1 の実績について
(令和 3 年度 取り組み編)

－ 総括版 －

【評価の目安】

- ◎：計画を上回って進んでいる・・・・・・・・・・・・・・・・100%超
- ：ほぼ計画どおり進んでいる・・・・・・・・・・・・・・・・80～100%
- △：計画よりやや取り組みが遅れている・・・・・・・・・・60～80%
- ×：計画の取り組みが遅れ、見直しが必要である・・60%未満
- －：未評価（新型コロナウイルスの影響により評価不可も含む）

※評価は、指標の達成状況のみで判断するのではなく、事業全体を総合的に評価しています。

(令和 4 年度 柏市 健康福祉審議会 第 1 回 高齢者健康福祉専門分科会)

政策目標	重点施策	令和3年度									
		◎		○		△		×		－	
健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる	フレイル予防・健康づくりの推進	1	(1)	5	(5)	1	(1)	1	(1)	0	
	多様な社会参加の促進	0		2	(1)	4	(2)	0		0	
	小計（14事業）	1	(1)	7	(6)	5	(3)	1	(1)	0	
		7.1%		50.0%		35.7%		7.1%		0.0%	
助けが必要でも 住み慣れた地域で 安心して暮らせる	地域での支えあい体制の推進	2	(2)	4	(2)	1	(1)	1	(1)	0	
	多様な生活支援ニーズに対する支援	1	(1)	2	(1)	0		0		0	
	認知症施策の推進	4	(3)	3	(3)	0		0		0	
	小計（18事業）	7	(6)	9	(6)	1	(1)	1	(1)	0	
	38.9%		50.0%		5.6%		5.6%		0.0%		
介護度が重度で あっても望む暮らしを 選択できる	介護サービス等の基盤整備	1		4	(2)	2	(1)	0		1	
	介護保険制度の持続可能性の確保	0		3		1	(1)	4	(4)	0	
	在宅医療・介護の連携の推進	0		5	(4)	2	(2)	0		1	(1)
	小計（24事業）	1		12	(6)	5	(4)	4	(4)	2	(1)
	4.2%		50.0%		20.8%		16.7%		8.3%		
意思が尊重され 自立して暮らせる	地域包括支援センターの機能強化	1		3	(2)	0		0		0	
	権利擁護の充実	2	(2)	5	(1)	1	(1)	0		0	
	多様な主体との地域づくりの推進	0		5	(2)	0		0		0	
	小計（17事業）	3	(2)	13	(5)	1	(1)	0		0	
	17.6%		76.5%		5.9%		0.0%		0.0%		
合計（73事業）		12	(9)	41	(23)	12	(9)	6	(6)	2	(1)
		16.4%		56.2%		16.4%		8.2%		2.7%	

※（）内の数値は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業の数。

1 健康寿命を延伸し いきいきと暮らせる

(1) フレイル予防・健康づくりの推進

【地域包括支援課】

住民主体で運営されているサロン活動が新型コロナウイルス感染症の影響で休止したこと等により、フレイルチェックを通じたフレイル予防の推進については、指標に届かなかった事業がありました。

一方で、「新型コロナワクチン集団接種促進キャンペーン」において、かしわフレイル予防ポイントカードを活用することで新規発行につなぐことができました。

(2) 多様な社会参加の促進

【福祉政策課，高齢者支援課，地域包括支援課】

生涯現役促進協議会は就労を中心にボランティアやサロンの紹介等，シニアのセカンドキャリアを支援する組織です。その指標となる求人開拓件数やボランティアの参加者数については、引き続き増加を目指して取り組みを進めていきます。

通いの場や老人福祉センターについては、一定期間の休止や利用方法の制限等が行われました。今後も感染対策を続けながら居場所づくりの支援を行います。

2 助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

(1) 地域での支えあい体制の推進

【福祉政策課，地域包括支援課】

たすけあいサービス団体の支援については、市民への働きかけにより、指標を上回る団体が活動できました。

福祉の総合相談窓口では、福祉以外の複合化した相談が増加しています。次年度以降も引き続き属性にとらわれない相談受付を実施し、相談者の入口を強化するとともに、各相談支援機関の支援をコーディネートし、一体的な支援を実施します。

(2) 多様な生活支援ニーズに対する支援

【地域包括支援課】

生活支援サービスについては、新型コロナウイルス感染症

の影響により利用控えが生じました。必要なサービスを適切に利用できるよう，市民や地域包括支援センター，関係者に対する周知を図ります。

介護支援専門員による効果的なケアマネジメントへの支援として，各種研修が実施されました。また，柏市ケアマネジメントに関する基本方針を柏市介護支援専門員協議会総務会において周知し，重度化防止に向けた考え方を共有しました。

(3) 認知症施策の推進

【地域包括支援課】

認知症サポーター養成講座の受講者数や，かしわ認知症対応ガイドブックの配布数，かしわオレンジネットワーク協力事業所数等について，着実に増やすことができました。また，地域包括支援センターにおいて，認知症当事者及びその家族が心地よく過ごせる居場所づくりや他者との交流を目的としたカフェを積極的に開催しました。

3 介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

(1) 介護サービス等の基盤整備

【高齢者支援課】

介護老人福祉施設及び特定施設入居者生活介護については，整備に要する期間を考慮し，公募により令和3年度に運営事業者の選定をしました。しかし，令和3年度中に整備予定の介護老人福祉施設については，運営事業者の既存施設での新型コロナウイルス感染症の対応等により，整備に遅延が生じ，令和4年10月までに整備する予定です。

介護人材確保対策事業については，「柏の〇（わ）」は開催を中止しましたが，「介護の仕事相談会」は開催でき，指標を上回る来場者数がありました。

(2) 介護保険制度の持続可能性の確保

【高齢者支援課，法人指導課】

30日以内に要介護（要支援）認定をする割合については，改善させるよう努めていきます。

介護サービス事業所への集団指導については，新型コロナ

ウイルス感染症の影響で実施できませんでした。今年度は動画等，オンラインを活用した集団指導を実施する予定です。

(3) 在宅医療・介護の連携の推進

【地域医療推進課】

顔の見える関係会議は，新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていましたが，オンラインを活用した開催を試みました。実施直後と3か月後にアンケートを行い，オンラインでも多職種連携に繋がる効果があるとわかったため，令和4年度はオンラインを活用した会議の実施を本格化する予定です。

在宅医療啓発事業は，これまでの活動に加えて，無関心層の中のターゲット層（働き盛り・子育て世代）へ，新たな啓発の取り組みを実施する予定です。

4 意思が尊重され自立して暮らせる

(1) 地域包括支援センターの機能強化

【地域包括支援課】

インフォーマルサービスの活用を働きかけたほか，多様な社会資源の紹介やケアプランチェックリストの活用を促すことで，適切なサービス提供による自立支援・重度化防止を目指した介護予防ケアマネジメントに取り組みました。引き続き令和4年度も，地域包括支援センター主任介護支援専門員との連携会議や介護予防個別会議を実施し，同センターや地域の介護支援専門員にインフォーマルサービスの活用を働きかけていきます。

地域包括支援センターによる自己評価や行政評価，利用者や関係機関へのアンケートによる評価を実施した結果，全国平均を上回りました。

(2) 権利擁護の充実

【地域包括支援課】

高齢者虐待防止の相談支援として，虐待の通報を受けた後，市と地域包括支援センターにおいてコア会議を開催し，支援方針や役割分担等，効率的かつ効果的な支援を目指した結果，

指標を上回る終結割合となりました。

成年後見制度の普及啓発として、柏市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、令和3年6月に成年後見制度に係る中核機関を設置し、成年後見制度利用促進機能として、弁護士・司法書士・社会福祉士等を交え、後見人等の候補職種の選定を行いました。

(3) 多様な主体との地域づくりの推進

【福祉政策課】

超高齢社会のまちづくりモデルとして、東京大学、URとの三者協定の下、在宅医療の推進、フレイル予防や生きがい就労、生活支援体制整備事業等、様々なプロジェクトを有機的につなげていくことを図りながら取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、生活支援体制整備事業におけるささえ愛実行委員会が予定通りに開催できない時期もありましたが、新たにICTを活用した地域での相談しやすい環境づくりに関する調査研究事業の取り組みを実施しました。

令和4年度については、豊四季台地域にオープン予定のスポーツジムと食堂の複合施設の活用等、三者で連携して効果的な事業展開を図ります。